

## 特長

- 64段階のリニア輝度制御付きの18個の20mAユニバーサル電流源
- 2線I<sup>2</sup>Cインターフェイスを使用して電流源ごとにオン/オフ、輝度、点滅、グラデーションを個別に制御
- 1倍/1.5倍/2倍のマルチモード低ノイズ・チャージポンプにより、最大91%の効率を達成
- スルーレート制限付きスイッチングにより、伝導および放射ノイズ(EMI)を低減
- 最大360mAの総出力電流
- 電流リファレンスを内蔵
- 1本のリセット・ピンにより、非同期シャットダウンと全データ・レジスタのリセットが可能
- 2つのI<sup>2</sup>Cアドレスを使用可能(LTC3220:0011100、LTC3220-1:0011101)
- 自動または強制的なモード切り替え
- ソフトスタート機能により、突入電流を制限
- 短絡/熱保護機能
- 超薄型(0.55mm)4mm×4mm 28ピンQFNパッケージ

## アプリケーション

- QCGA+ディスプレイ付きビデオ電話
- キーパッドの照明
- 汎用/多種多様な照明

## 概要

LTC3220/LTC3220-1は、高集積のマルチディスプレイLEDドライバです。これらのデバイスは高効率で低ノイズのチャージポンプを内蔵し、最大18個のユニバーサルLED電流源に電力を供給します。LTC3220/LTC3220-1はわずか5個の小型セラミック・コンデンサを使用するだけで、完全なLED電源および電流コントローラを構成します。

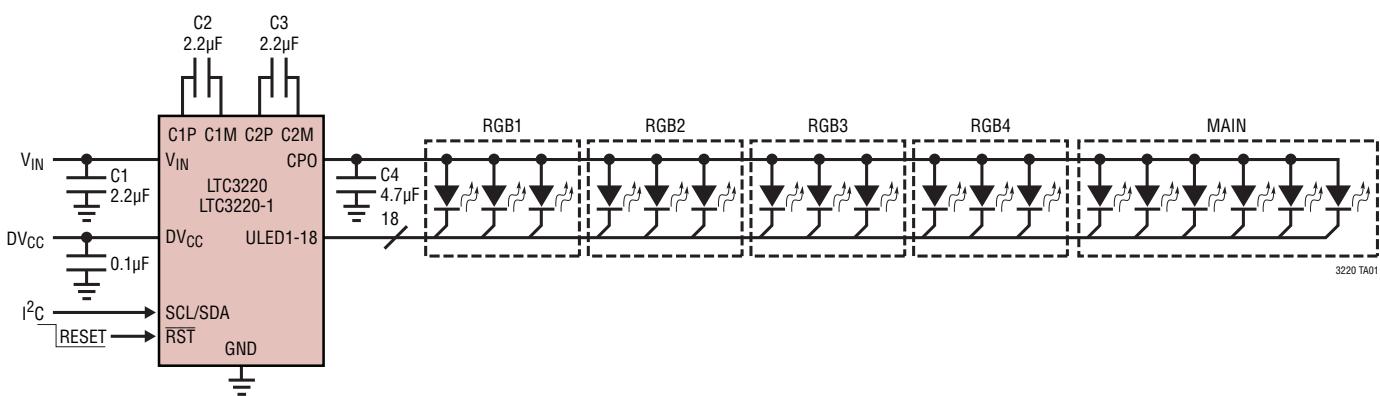
LED電流は高精度の内部電流源で設定されます。I<sup>2</sup>Cシリアル・インターフェイスを介してすべてのユニバーサル電流源の調光、オン/オフ、点滅、グラデーションが個別に制御されます。6ビットのリニアDACを使用して、各ユニバーサルLED電流源ごとに輝度を調整できます。

LTC3220/LTC3220-1のチャージポンプはLED電流源の電圧に基づいて効率を最適化します。このデバイスは1倍モードで起動し、いずれかのインエーブルされたLED電流源がドロップアウト状態になり始めると自動的に昇圧モードに切り替わります。最初のドロップアウトで1.5倍モードに切り替わり、次のドロップアウトで2倍モードに切り替わります。また、I<sup>2</sup>Cポートを介してデータ・ビットが更新されるたびに1倍モードにリセットされます。

△、LT、LTC、LTMはリニアテクノロジー社の登録商標です。他のすべての商標はそれぞれの所有者に所有権があります。6411531を含む米国特許によって保護されています。

## 標準的応用例

6 LEDのメイン・ディスプレイと4つのRGB LEDディスプレイ



32201fc

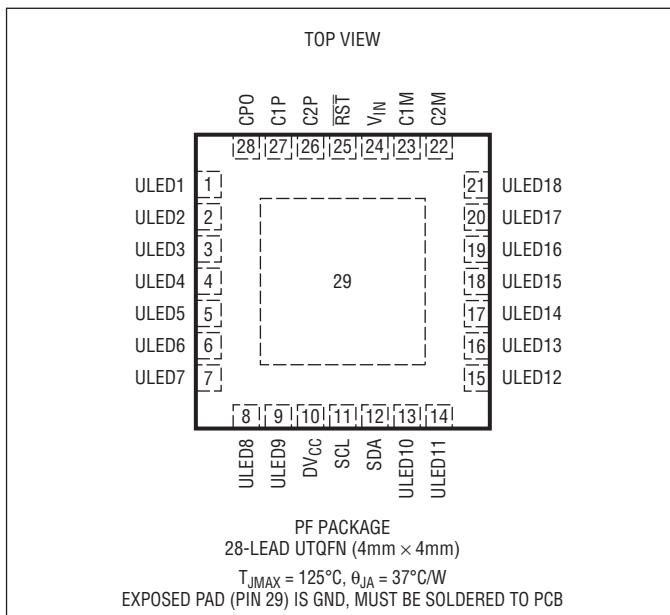
# LTC3220/LTC3220-1

## 絶対最大定格

(Note 1,4)

(V <sub>IN</sub> , DV <sub>CC</sub> , CPO)-GND間	-0.3V~6V
(ULED1~ULED18)-GND間	-0.3V~6V
SDA, SCL, RST	-0.3V~(DV <sub>CC</sub> +0.3V)
I <sub>CPO</sub> (連続) (Note 2)	360mA
I <sub>ULED1~18</sub> (Note 2)	25mA
CPO短絡時間	無期限
動作温度範囲 (Note 3)	-40°C~85°C
LTC3220E/LTC3220E-1	-40°C~85°C
LTC3220I/LTC3220I-1	-40°C~125°C
保存温度範囲	-65°C~150°C

## ピン配置



## 発注情報

鉛フリー仕様	テープアンドリール	製品マーキング *	パッケージ	温度範囲
LTC3220EPF#PBF	LTC3220EPF#TRPBF	3220T	28-Lead UTQFN (4mm x 4mm)	-40°C to 85°C
LTC3220EPF-1#PBF	LTC3220EPF-1#TRPBF	2201T	28-Lead UTQFN (4mm x 4mm)	-40°C to 85°C
LTC3220IPF#PBF	LTC3220IPF#TRPBF	3220T	28-Lead UTQFN (4mm x 4mm)	-40°C to 125°C
LTC3220IPF-1#PBF	LTC3220IPF-1#TRPBF	2201T	28-Lead UTQFN (4mm x 4mm)	-40°C to 125°C

さらに広い動作温度範囲で規定されるデバイスについては、弊社または弊社代理店へお問い合わせください。 \*温度グレードは出荷時のコンテナのラベルで識別されます。  
非標準の鉛ベース仕上げの製品の詳細については、弊社または弊社代理店へお問い合わせください。

鉛フリー製品のマーキングの詳細については、<http://www.linear-tech.co.jp/leadfree/> をご覧ください。  
テープアンドリールの仕様の詳細については、<http://www.linear-tech.co.jp/tapeandreel/> をご覧ください。

## 電気的特性

●は全動作温度範囲の規格値を意味する。それ以外は $T_A = 25^{\circ}\text{C}$ での値。注記がない限り、 $V_{IN} = 3.6\text{V}$ 、 $DV_{CC} = 3\text{V}$ 、 $RST = "H"$ 、 $C1 = C2 = C3 = 2.2\mu\text{F}$ 、 $C4 = 4.7\mu\text{F}$ 。

SYMBOL	PARAMETER	CONDITIONS	MIN	TYP	MAX	UNITS
	V <sub>IN</sub> Operating Voltage		●	2.9	5.5	V
	I <sub>VIN</sub> Operating Current	I <sub>CPO</sub> = 0, 1x Mode I <sub>CPO</sub> = 0, 1.5x Mode I <sub>CPO</sub> = 0, 2x Mode		580 2.4 3.2		μA mA mA
	DV <sub>CC</sub> UVLO Threshold			1		V
	DV <sub>CC</sub> Operating Voltage		●	1.5	5.5	V
	V <sub>IN</sub> UVLO Threshold			1.5		V

32201fc

## 電気的特性

●は全動作温度範囲の規格値を意味する。それ以外は $T_A = 25^\circ\text{C}$ での値。注記がない限り、 $V_{IN} = 3.6\text{V}$ 、 $DV_{CC} = 3\text{V}$ 、 $\bar{RST} = \text{"H"}$ 、 $C1 = C2 = C3 = 2.2\mu\text{F}$ 、 $C4 = 4.7\mu\text{F}$ 。

SYMBOL	PARAMETER	CONDITIONS	MIN	TYP	MAX	UNITS
	$V_{IN}$ Shutdown Current		●	3.2	7	$\mu\text{A}$
	$DV_{CC}$ Shutdown Current		●	1		$\mu\text{A}$

### Universal LED Current, 6-Bit Linear DACs, ULED = 1V

	Full-Scale LED Current		●	18	20	22	mA
	Minimum ( $I_{LSB}$ ) LED Current Step				0.314		mA
	Minimum Programmable Current	ULED Data Register Programmed to 0b00000001			0.395		mA
	LED Current Matching	Any Two Outputs, 50% of FS			1.5		%
	LED Dropout Voltage	$I_{LED} = \text{FS}$			120		mV
	Blink Rate Period	REG19, D4 = 0 REG19, D4 = 1			1.25 2.5		Sec Sec
	ULED Up/Down Gradation Ramp Times	REG19, D1 = 1, D2 = 0 REG19, D1 = 0, D2 = 1 REG19, D1 = 1, D2 = 1			0.24 0.48 0.96		Sec Sec Sec
	Gradation Period	REG19, D1 = 1, D2 = 0 REG19, D1 = 0, D2 = 1 REG19, D1 = 1, D2 = 1		0.313 0.625 1.25	0.410 0.820 1.640		Sec Sec Sec
	$V_{OL}$ General Purpose Output Mode (GPO)	$I_{OUT} = 1\text{mA}$ , Single Output Enabled			5		mV
	LED Turn-On Delay	From Stop Bit, Part Enabled			4		$\mu\text{s}$

### Charge Pump (CPO)

	1x Mode Output Impedance			0.6		$\Omega$	
	1.5x Mode Output Impedance	$V_{IN} = 3\text{V}$ , $V_{CPO} = 4.2\text{V}$ (Note 5)		3.6		$\Omega$	
	2x Mode Output Impedance	$V_{IN} = 3\text{V}$ , $V_{CPO} = 4.8\text{V}$ (Note 5)		4.1		$\Omega$	
	CPO Regulation Voltage	1.5x Mode, $I_{CPO} = 20\text{mA}$ 2x Mode, $I_{CPO} = 20\text{mA}$		4.5 5.03		V V	
	Clock Frequency		●	0.65	0.85	1.05	MHz

### CPO Short-Circuit Detection

	Threshold Voltage		●	0.4	1.3	V
	Test Current	$CPO = 0\text{V}$	●	10	30	$\text{mA}$

### SDA, SCL, RST

$V_{IL}$			●	0.3 • $DV_{CC}$	V
$V_{IH}$			●	0.7 • $DV_{CC}$	V
$I_{IH}$		SDA, SCL, $\bar{RST} = DV_{CC}$	●	-1 1	$\mu\text{A}$
$I_{IL}$		SDA, SCL, $\bar{RST} = 0\text{V}$	●	-1 1	$\mu\text{A}$
$V_{OL}$	Digital Output Low (SDA)	$I_{PULLUP} = 3\text{mA}$	●	0.12 0.4	V
RST Timing	Reset Pulse Duration			20	ns

### Serial Port Timing (Notes 6, 7)

$f_{SCL}$	Clock Operating Frequency			400	kHz
$t_{BUF}$	Bus Free Time Between Stop and Start Condition			1.3	$\mu\text{s}$
$t_{HD,STA}$	Hold Time After (Repeated) Start Condition			0.6	$\mu\text{s}$
$t_{SU,STA}$	Repeated Start Condition Setup Time			0.6	$\mu\text{s}$
$t_{SU,STO}$	Stop Condition Setup Time			0.6	$\mu\text{s}$

# LTC3220/LTC3220-1

## 電気的特性

●は全動作温度範囲の規格値を意味する。それ以外は $T_A = 25^\circ\text{C}$ での値。注記がない限り、 $V_{IN} = 3.6\text{V}$ 、 $DV_{CC} = 3\text{V}$ 、 $\overline{RST} = \text{"H"}$ 、 $C1 = C2 = C3 = 2.2\mu\text{F}$ 、 $C4 = 4.7\mu\text{F}$ 。

SYMBOL	PARAMETER	CONDITIONS	MIN	TYP	MAX	UNITS
$t_{HD,DAT(OUT)}$	Data Hold Time		0	900		ns
$t_{HD,DAT(IN)}$	Input Data Hold Time		0			ns
$t_{SU,DAT}$	Data Setup Time		100			ns
$t_{LOW}$	Clock Low Period		1.3			μs
$t_{HIGH}$	Clock High Period		0.6			μs
$t_f$	Clock Data Fall Time		20	300		ns
$t_r$	Clock Data Rise Time		20	300		ns
$t_{SP}$	Spike Supression Time				50	ns

**Note 1:** 絶対最大定格はそれを超えるとデバイスに永続的な損傷を与える可能性がある値。また、絶対最大定格状態が長時間続くと、デバイスの信頼性と寿命に悪影響を与える恐れがある。

**Note 2:** 長期電流密度制限に基づく。

**Note 3:** LTC3220E/LTC3220E-1は、 $0^\circ\text{C} \sim 85^\circ\text{C}$ の温度範囲で性能仕様に適合することが保証されている。 $-40^\circ\text{C} \sim 85^\circ\text{C}$ の動作温度範囲での仕様は、設計、特性評価および統計学的なプロセス・コントロールとの相関で確認されている。LTC3220I/LTC3220I-1は、 $-40^\circ\text{C} \sim 125^\circ\text{C}$ の全動作温度範囲で性能仕様に適合することが保証されている。

**Note 4:** これらのデバイスには、短時間の過負荷状態の間デバイスを保護するための過温度保護機能が備わっている。過温度保護機能がアクティブなとき、接合部温度は $125^\circ\text{C}$ を超える。規定された最高動作接合部温度を超えた動作が継続すると、デバイスの劣化または故障が生じる恐れがある。

**Note 5:** 1.5倍モードの出力インピーダンスは、 $(1.5V_{IN} - V_{CPO})/I_{OUT}$ として定義される。

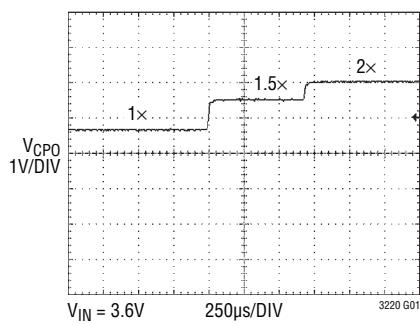
2倍モードの出力インピーダンスは、 $(2V_{IN} - V_{CPO})/I_{OUT}$ として定義される。

**Note 6:** すべての値は、 $V_{IH}$ レベルと $V_{IL}$ レベルを基準にしている。

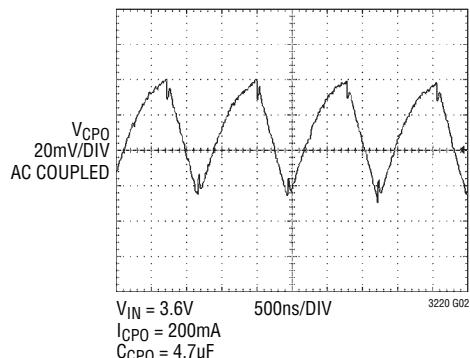
**Note 7:** 設計によって保証されている。

## 標準的性能特性 注記がない限り、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 。

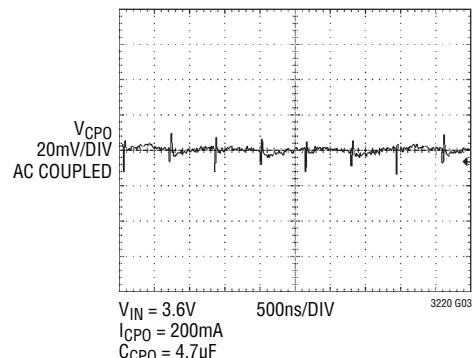
モード・スイッチの  
ドロップアウト時間



1.5倍モードのCPOリップル

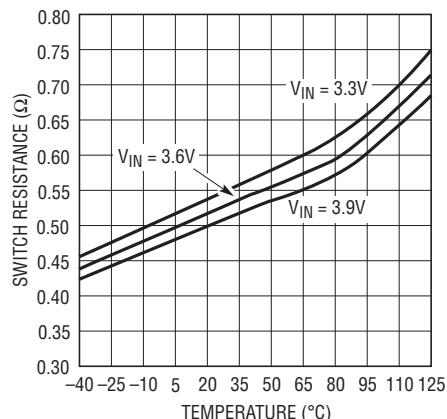


2倍モードのCPOリップル



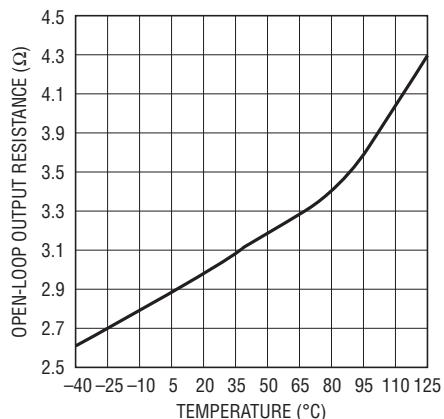
## 標準的性能特性 注記がない限り、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 。

### 1倍モードのスイッチ抵抗と温度



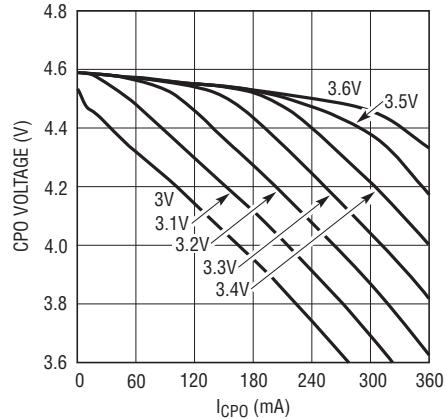
3220 G04

### 1.5倍モード・チャージポンプの開ループ出力抵抗と温度



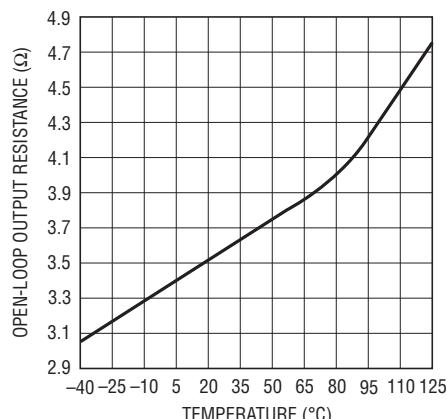
3220 G05

### 1.5倍モードのCPO電圧と $I_{CPO}$



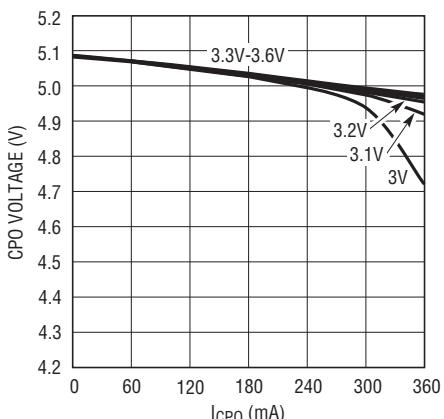
3220 G06

### 2倍モード・チャージポンプの開ループ出力抵抗と温度



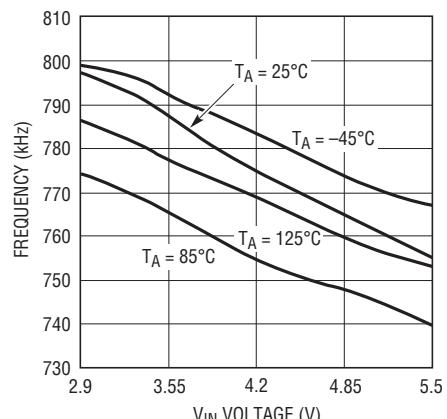
3220 G07

### 2倍モードのCPO電圧と $I_{CPO}$



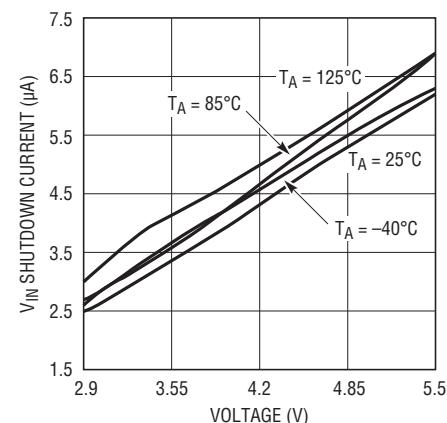
3220 G08

### 発振周波数と $V_{IN}$ 電圧



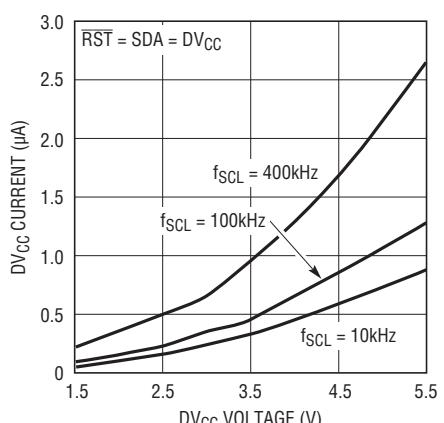
3220 G09

### $V_{IN}$ シャットダウン電流と $V_{IN}$ 電圧



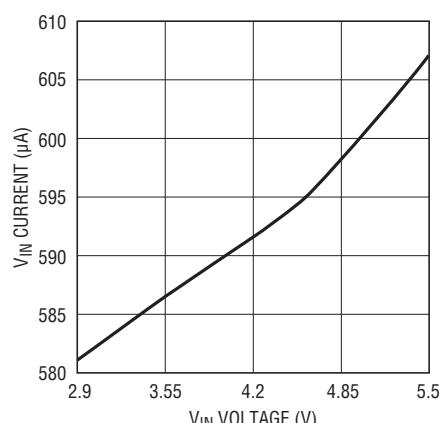
3220 G10

### DV<sub>CC</sub>電流とDV<sub>CC</sub>電圧



3220 G11

### 1倍モードの無負荷 $V_{IN}$ 電流と $V_{IN}$ 電圧

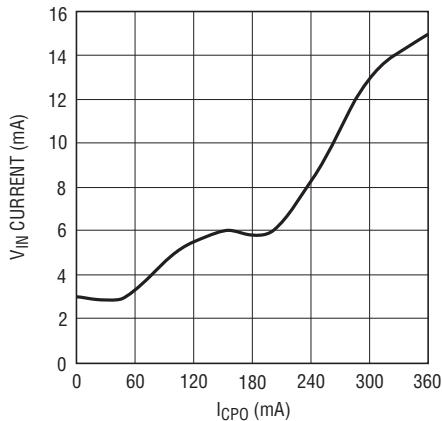


3220 G12

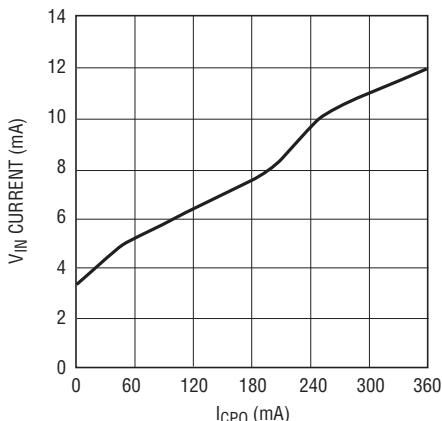
# LTC3220/LTC3220-1

標準的性能特性 注記がない限り、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 。

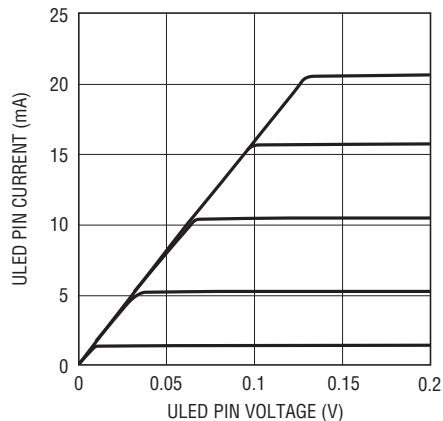
1.5倍モードの $V_{IN}$ 電流と $I_{CPO}$   
( $I_{VIN} - 1.5I_{CPO}$ )



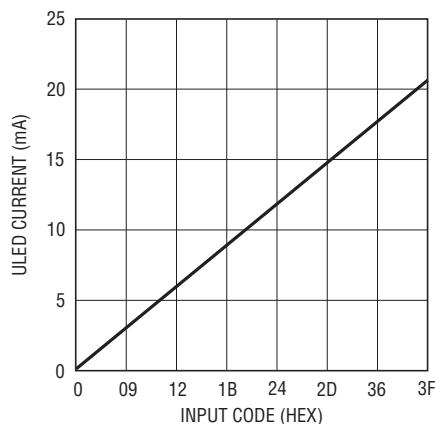
2倍モードの $V_{IN}$ 電流と $I_{CPO}$   
( $I_{VIN} - 2I_{CPO}$ )



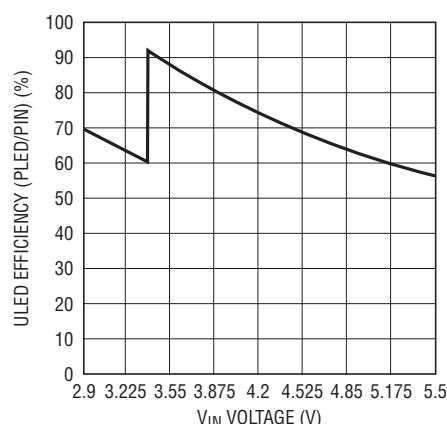
ULEDピンの電流とULEDピンの  
電圧



ULEDの電流と入力コード



18-LED ULEDディスプレイの  
効率と $V_{IN}$ 電圧



## ピン機能

**ULED1～ULED18(ピン1～9、13～21)**: LED ドライブ用電流源出力。LED電流は、ソフトウェア制御と内蔵6ビット・リニアDACにより0mAから20mAまで64段階の設定が可能です。各出力は、対応するデータ・レジスタREG1～REG18を“L”に設定することによってディスエーブルすることができます。ULED1～ULED18は、I<sup>2</sup>C制御のオープンドレインの汎用出力としても使用できます。使用しない出力はグランドに接続します。

**DV<sub>CC</sub>(ピン10)**: デジタル入出力ライン全体の電源電圧。このピンによってLTC3220/LTC3220-1のロジック・リファレンス・レベルが設定されます。DV<sub>CC</sub>が低電圧ロックアウト・スレッシュホールドより低い値に設定されると、データ・レジスタがリセットされます。X5RまたはX7Rの0.1μFセラミック・コンデンサでグランドに接続します。

**SCL(ピン11)**: I<sup>2</sup>Cシリアル・ポートのクロック入力。SCLのロジックレベルはDV<sub>CC</sub>を基準にしています。

## ピン機能

**SDA(ピン12)**:シリアル・ポートのデータ入力。シリアル・データは1クロック・サイクルごとにビット単位でシフトされ、LTC3220/LTC3220-1を制御します。このロジックレベルはDV<sub>CC</sub>を基準にしています。

**C1P、C2P、C1M、C2M(ピン27、26、23、22)**:チャージポンプのフライング・コンデンサ用ピン。X7RまたはX5Rの2.2μFセラミック・コンデンサをC1P-C1M間およびC2P-C2M間に接続します。

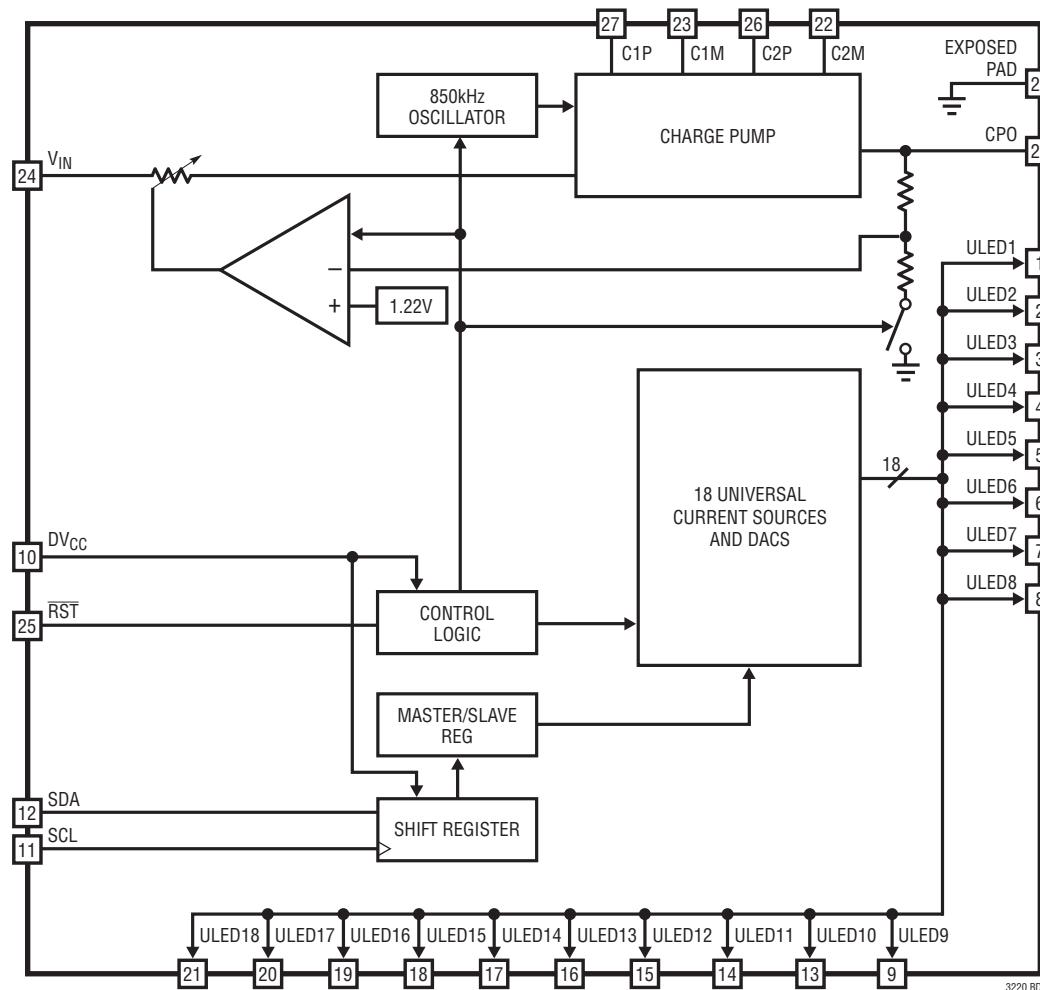
**V<sub>IN</sub>(ピン24)**:デバイス全体の電源電圧。このピンは、1個の2.2μFの低ESRセラミック・コンデンサを使用してバイパスする必要があります。

**RST(ピン25)**:アクティブ“L”的リセット入力。**RST**によってすべての内部レジスタがリセットされ、LTC3220/LTC3220-1がシャットダウン・モードに強制されます。

**CPO(ピン28)**:チャージポンプの出力。すべてのLEDの電力供給に使用します。X5RまたはX7Rの4.7μFセラミック・コンデンサでグランドに接続します。

**露出パッド(ピン29)**:グランド。露出パッドはPCBのグランドに半田付けする必要があります。

## ブロック図



# LTC3220/LTC3220-1

## 動作

### パワーマネージメント

LTC3220/LTC3220-1は、スイッチトキャパシタ型チャージポンプを使用して、CPOを入力電圧の2倍の5.1Vまで昇圧させます。このデバイスは1倍モードで起動します。このモードでは、 $V_{IN}$ がCPOに直結されます。このモードでは、効率を最大にできノイズを最小限に抑えることができます。LTC3220/LTC3220-1は、LEDの電流源がドロップアウト状態になるまで1倍モードを維持します。電流源の電圧が低下し過ぎて設定された電流を供給できなくなると、ドロップアウトが生じます。ドロップアウトが検出されると、LTC3220/LTC3220-1は1.5倍モードに切り替わります。その後、CPO電圧は上昇し始め $V_{IN}$ の1.5倍の4.6Vまで到達しようとなります。次のドロップアウトが検出されると、デバイスは2倍モードに切り替わります。CPO電圧は $V_{IN}$ の2倍の5.1Vまで到達しようとなります。

2フェーズの非重複クロックによってチャージポンプのスイッチがアクティブになります。2倍モードでは、フライング・コンデンサが $V_{IN}$ から1つおきのクロック・フェーズで充電され、CPO電圧のリップルが最小限に抑えられます。1.5倍モードでは、最初のクロック・フェーズでフライング・コンデンサは直列に充電され、2番目のクロック・フェーズでは $V_{IN}$ に並列に重ねられます。このフライング・コンデンサの充放電は850kHzの固定周波数で繰り返されます。

各LEDの電流源によって供給される電流は、対応するDACによって制御されます。各DACはI<sup>2</sup>Cポートを介して設定されます。

### ソフトスタート

最初に、このデバイスがシャットダウン状態の場合、 $V_{IN}$ -CPO間が小電流スイッチで接続されます。このため、 $V_{IN}$ はCPOの出力コンデンサを緩やかに充電し、大きな充電電流の発生を防止します。

またLTC3220/LTC3220-1は、チャージポンプにソフトスタート機能を備えており、昇圧モードに切り替わったときに過度の突入電流や電源の垂下が生じないようにします。CPOピンに供給される電流は、125μs(標準)にわたって直線的に上昇します。ソフトスタートは、1.5倍モードと2倍モードへの切り替わりの開始時に発生します。

### チャージポンプの能力

LTC3220/LTC3220-1が1.5倍モードまたは2倍モードのいずれかで動作する場合、チャージポンプをテブナン等価回路としてモデル化し、実効入力電圧と実効開ループ出力抵抗( $R_{OL}$ )から使用可能な電流量を求めることができます(図1)。

$R_{OL}$ は、スイッチング期間( $1/(2f_{OSC} \cdot C_{FLY})$ )、内部スイッチ抵抗、スイッチング回路の非重複期間など、いくつかの要素に依存します。ただし、所定の $R_{OL}$ に対し、使用可能な電流量はアドバンテージ電圧(1.5倍モードでは $1.5V_{IN} - CPO$ 、2倍モードでは $2V_{IN} - CPO$ )に正比例します。3.1Vの電源でLEDをドライブする例について考えてみます。

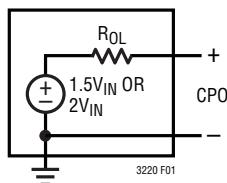


図1. チャージポンプの開ループ・テブナン等価回路

## 動作

LEDの順方向電圧が3.8Vで、電流源が100mVを必要とする場合、1.5倍モードのアドバンテージ電圧は $3.1V \cdot 1.5 - 3.8V - 0.1V$ 、つまり750mVです。入力電圧が3.2Vに上昇すると、アドバンテージ電圧は900mVに跳ね上がり、使用可能な能力が20%向上することに注目してください。

図1から、1.5倍モードの使用可能な電流は次式で求められます。

$$I_{OUT} = \frac{1.5V_{IN} - V_{CPO}}{R_{OL}} \quad (1)$$

2倍モードでは、使用可能な電流は次式で求められます。

$$I_{OUT} = \frac{2V_{IN} - V_{CPO}}{R_{OL}} \quad (2)$$

この場合のアドバンテージ電圧は $3.1V \cdot 2 - 3.8V - 0.1V = 2.3V$ になることに注意してください。2倍モードでは $R_{OL}$ 値が大きくなりますが、使用可能な最大電流が大幅に向上します。

### モードの切り替え

LTC3220/LTC3220-1は、1つのLEDピンでドロップアウト状態が検出されるたびに1倍モードから1.5倍モードに自動的に切り替わり、次いで2倍モードに切り替わります。電流源の電圧が低下し過ぎて設定された電流を供給できなくなると、ドロップアウトが生じます。ドロップアウト状態が約400μsの間継続しなければ、モードが切り替わることはできません。

グラデーションがランプダウンし終わったときおよび各点滅期間の後、I<sup>2</sup>Cポートを介してレジスタが更新されたたびに1倍モードに自動的に戻ります。

このデバイスは、REG0に適切なビットを書き込むことによって、1倍、1.5倍、2倍モードの動作に強制することができます。この機能はCPOから電力供給される負荷の動作に使用することができます。

非設定の電流源はドロップアウトに影響を与えません。

### ユニバーサル電流源(ULED1～ULED18)

20mAのユニバーサル電流源を18個備えています。各電流源には電流制御用に6ビットのリニアDACがあります。出力電流の範囲は64段階で0mAから20mAまでです。

オールゼロのデータ・ワードが書き込まれると、各電流源はディスエーブルされます。各電流源の消費電流はゼロまで減少します。使用しない出力はGNDに接続します。

### GPOモード

ULED1～ULED18は汎用出力(GPO)として使用することができます。GPOモードの電流源は、I<sup>2</sup>C制御のオープンドレイン・ドライバとして使用することができます。ULED出力は、データ・レジスタ(REG1～REG18)のビット6とビット7の両方をロジック“H”に設定することにより、GPOモードで動作するように選択することができます。GPOモードでは、ドロップアウト検出がディスエーブルされて出力がグランドまで振幅しても、モードは切り替わりません。

GPOモードでは、デバイスの消費電流が約3μAのスイッチとして動作する設定(強いプルダウン・モード)、または制御された電流を最大20mAにする設定(電流制限モード)が可能です。電流制限モードではさらに数百マイクロアンペアの消費電流が必要になります。

シャットダウン時にULED出力をGPOモードで使用する場合、CPOピンから得られる電流は弱いプルアップ電流源によって制限されているので、CPOを電源として使用することはできません。この弱いプルアップは、シャットダウン時に出力コンデンサをV<sub>IN</sub>まで充電しておくことだけが目的なので、多くの電流を供給することはできません。ただし、デバイスがイネーブルされているときは、CPOを電源として使用することができます。

逆に、ULED出力がGPOの強いプルダウン・モードで使用される場合には、電流が絶対最大定格値を超えないよう、電流制限抵抗をULEDと直列に接続する必要があります。

# LTC3220/LTC3220-1

## 動作

### 点滅

各ユニバーサル出力(ULED1～ULED18)は、I<sup>2</sup>Cポートを介して、0.156秒または0.625秒のオン時間と1.25秒または2.5秒の周期で点滅するように設定できます。点滅速度はREG19により選択され、ULED出力はREG1～REG18により選択されます。点滅速度とグラデーション速度は独立しています。点滅の設定の詳細と例については、「アプリケーション・ノート115」を参照してください。

### グラデーション

ユニバーサルLED出力ULED1～ULED18は、I<sup>2</sup>Cポートを介して、電流のランプアップとランプダウンの速度を0.24秒、0.48秒、0.96秒に設定することができます。これらの出力は、点滅またはグラデーションを個別にイネーブルすることができます。グラデーション時間はREG19により設定され、ULED出力はREG1～REG18により選択されます。ランプの方向もREG19により制御されます。UPビットを“H”に設定するとグラデーションはランプアップし、このビットを“L”に設定するとグラデーションはランプダウンします。グラデーションの設定の詳細と例については、「アプリケーション・ノート115」を参照してください。

グラデーションがディスエーブルされると、LEDの出力電流は設定値に保たれます。

グラデーションがランプダウンを終了すると、チャージポンプは1倍モードにリセットされます。

### デバイスのリセット(RST)

RSTピンは、LTC3220/LTC3220-1のチャージポンプ、すべてのULED出力などのターンオフとすべてのレジスタのクリアに使用されます。 $\overline{RST}$ が“L”的とき、デバイスはシャットダウンになり、I<sup>2</sup>Cポートを介して設定することはできません。

### シャットダウン電流

シャットダウンが生じるのは、すべての電流源のデータ・ビットにゼロが書き込まれるとき、REG0のシャットダウン・ビットにロジック1が書き込まれるとき、 $\overline{RST}$ が“L”になるとき、またはDV<sub>CC</sub>が低電圧ロックアウト電圧より低い電圧に設定されるときです。

LTC3220/LTC3220-1はシャットダウン電流が非常に低くなるように設計されていますが、シャットダウン時にはV<sub>IN</sub>から3μA程度流れます。DV<sub>CC</sub>が“L”的とき、内部ロジックによってLTC3220/LTC3220-1はシャットダウン状態になります。ただし、DV<sub>CC</sub>を基準としているすべてのロジック信号(SCL、SDA、 $\overline{RST}$ )が、これらのピンの絶対最大定格に違反しないように、DV<sub>CC</sub>またはそれを下回る値(グランド等)であることが必要です。

### EMIの低減

フライング・コンデンサ・ピンC1M、C1P、C2M、C2Pでは、伝導および放射ノイズを低減するため、スルーレートが制御されています。

### シリアル・ポート

マイクロコントローラ互換のI<sup>2</sup>Cシリアル・ポートには、LTC3220/LTC3220-1のすべてのコマンド入力と制御入力が備わっています。SDA入力のデータはSCLの立ち上りエッジでロードされます。D7が最初にロードされ、D0が最後にロードされます。20個のデータ・レジスタと、アドレス・レジスタおよびサブアドレス・レジスタが1個ずつあります。すべてのアドレス・ビットがクロックによってアドレス・レジスタに入力されると、アクノリッジが発生します。

## 動作

次いでサブアドレス・レジスタにデータが書き込まれ、続いてデータ・レジスタに書き込まれます。各データ・レジスタにはサブアドレスがあります。データ・レジスタにデータが書き込まれると、ストップ・ビットの後にロード・パルスが生成されます。このロード・パルスによって、データ・レジスタ内のすべてのデータがDACレジスタに転送されます。ストップ・ビットは、すべてのデータ・マスター・レジスタにデータが書き込まれるまで遅延させることができます。この時点ではLED電流の値は新たな設定値に変更されます。シリアル・ポートはスタティック・ロジック・レジスタを使用しているので、動作させるのに最小速度の制限はありません。

### I<sup>2</sup>Cインターフェイス

LTC3220/LTC3220-1は、標準I<sup>2</sup>C 2線インターフェイスを使用してホスト(マスター)と通信します。バスの信号のタイミング関係をタイミング図(図3)に示します。2本のバ

スライン(SDAとSCL)は、バスが使用されていないとき“H”にする必要があります。これらのラインには、外付けのプルアップ抵抗またはLTC1694 SMBusアクセルレータなどの電流源が必要です。

LTC3220/LTC3220-1は受信するだけの(スレーブ)デバイスです。

使用可能なI<sup>2</sup>Cアドレスは2つあります。LTC3220のI<sup>2</sup>Cアドレスは0011100で、LTC3220-1のI<sup>2</sup>Cアドレスは0011101です。I<sup>2</sup>CアドレスはLTC3220とLTC3220-1の唯一の相違点です。

### LTC3220/LTC3220-1で使用されるライト・ワード・プロトコル

1	7	1	1	8	1	8	1	1
S	Slave Address	Wr	A	*Sub-Address	A	Data Byte	A	P**

S = START条件, Wr = 書き込みビット = 0, A = アクノリッジ, P = STOP条件

\*サブアドレスは最初の5ビット(D0,D1,D2,D3,D4)のみを使用する

\*\*STOPはすべてのデータ・レジスタが書き込まれるまで遅延させることができます。

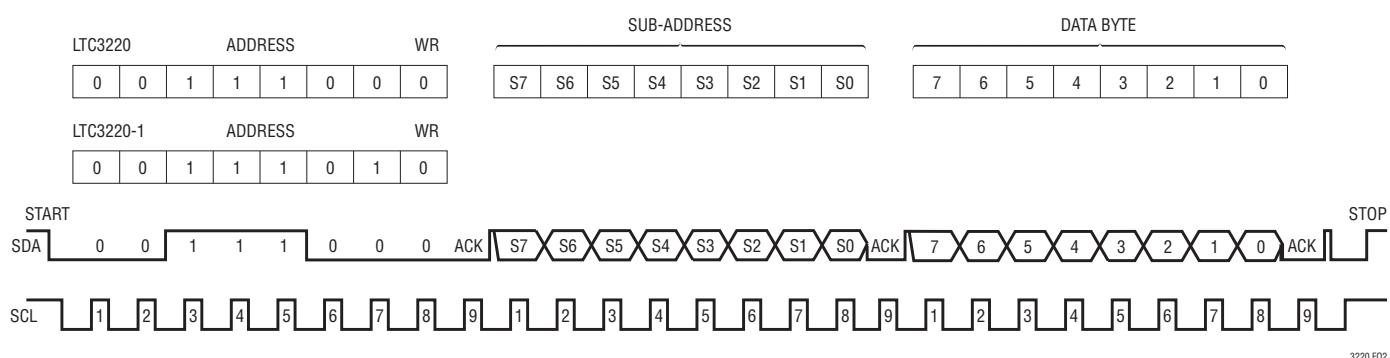


図2. ビット割り当て

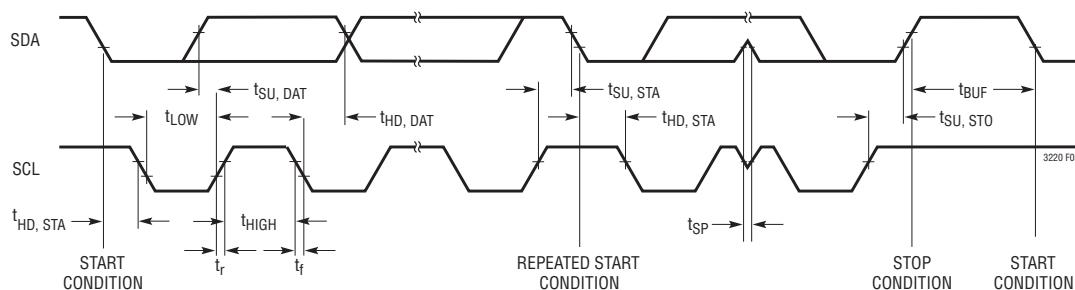


図3. タイミング・パラメータ

# LTC3220/LTC3220-1

## 動作

サブアドレス・バイト

MSB	LSB								
7	6	5	4	3	2	1	0	Register	Function
0	0	0	0	0	0	0	0	REG0	COMMAND
0	0	0	0	0	0	0	1	REG1	ULED1
0	0	0	0	0	0	1	0	REG2	ULED2
0	0	0	0	0	0	1	1	REG3	ULED3
0	0	0	0	0	1	0	0	REG4	ULED4
0	0	0	0	0	1	0	1	REG5	ULED5
0	0	0	0	0	1	1	0	REG6	ULED6
0	0	0	0	0	1	1	1	REG7	ULED7
0	0	0	0	1	0	0	0	REG8	ULED8
0	0	0	0	1	0	0	1	REG9	ULED9
0	0	0	0	1	0	1	0	REG10	ULED10
0	0	0	0	1	0	1	1	REG11	ULED11
0	0	0	0	1	1	0	0	REG12	ULED12
0	0	0	0	1	1	0	1	REG13	ULED13
0	0	0	0	1	1	1	0	REG14	ULED14
0	0	0	0	1	1	1	1	REG15	ULED15
0	0	0	1	0	0	0	0	REG16	ULED16
0	0	0	1	0	0	0	1	REG17	ULED17
0	0	0	1	0	0	1	0	REG18	ULED18
0	0	0	1	0	0	1	1	REG19	GRAD/ BLINK

REG0、コマンド・バイト。

レジスタ・サブアドレス = 0000

MSB	LSB						
D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
Unused	Unused	Unused	Unused	Shutdown	Force2x	Force1p5x	Quick write

Quick write	0	Serial write to each register
	1	Parallel write, REG1 data is written to all eighteen universal registers
Force1p5	1	Forces charge pump into 1.5x mode
	0	Enables mode logic to control mode changes based on dropout signal
Force2x	1	Forces charge pump into 2x mode
	0	Enables mode logic to control mode changes based on dropout signal
Force1x		D2 (Force1p5x) = 1 D3 (Force2x) = 1 } Forces Charge Pump into 1x Mode
Shutdown	1	Shuts down part while preserving data in registers
	0	Normal operation

## 動作

### データ・バイト

REG1～REG18、点滅/グラデーション機能付きユニバーサルLEDの6ビット・リニアDACのデータ。

サブアドレスの表より、サブアドレス = 00001～10010

Blink/Gradation/Dropout Enable			LED Current Data					
MSB			LSB					
	Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
Normal	0	0	D5	D4	D3	D2	D1	D0
Blink Enabled	0	1	D5	D4	D3	D2	D1	D0
Gradation Enabled	1	0	D5	D4	D3	D2	D1	D0
GPO Mode*								
Strong Pull-Down Mode	1	1	0	0	0	0	0	0
Current Limited Mode	1	1	D5	D4	D3	D2	D1	D0
High Impedance/Off	0	0	0	0	0	0	0	0
*(Gradation/Blink/Dropout Off)								

REG19、グラデーションおよび点滅

MSB	LSB							
D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0	
Unused	Unused	Unused	GB4	GB3	GB2	GB1	Up	
Up	0	Gradation counts down Gradation counts up						

Blink Times and Period				Gradation Ramp Times and Period			
D4 (GB4)	D3 (GB3)	On Time	Period	D2 (GB2)	D1 (GB1)	Ramp Time	Period
0	0	0.625s	1.25s	0	0	Disabled	Disabled
0	1	0.156s	1.25s	0	1	0.24s	0.313s
1	0	0.625s	2.5s	1	0	0.48s	0.625s
1	1	0.156s	2.5s	1	1	0.96s	1.25s

## 動作

### バスの速度

I<sup>2</sup>Cポートは最大400kHzの速度で動作するように設計されています。ポートにはタイミング遅延が内蔵されており、I<sup>2</sup>Cに準拠したマスタ・デバイスからアドレス指定されると適正に動作することが保証されます。バスが損傷した場合でもグリッチを抑制するように設計された入力フィルタも備えています。

### START条件とSTOP条件

バス・マスタは、START条件を送ることによって通信開始をスレーブ・デバイスに知らせます。

START条件は、SCLが“H”の間にSDAを“H”から“L”に遷移させることによって生成されます。マスタはスレーブとの通信を終了すると、SCLが“H”の間にSDAを“L”から“H”に遷移させることによってSTOP条件を送信します。この後、バスは別のI<sup>2</sup>Cデバイスと自由に通信できます。

### バイトのフォーマット

LTC3220/LTC3220-1に送られる各バイトは8ビット長で、その後にLTC3220/LTC3220-1からアクノリッジ・ビットを返すための追加のクロック・サイクルが続く必要があります。データは最上位ビット(MSB)を先頭にしてLTC3220/LTC3220-1に送られます。

### アクノリッジ

アクノリッジ信号はマスタとスレーブ間のハンドシェイクに使用されます。スレーブ(LTC3220/LTC3220-1)によって生成されるアクノリッジ(アクティブ“L”)は、情報の最新のバイトが受信されたことをマスタに知らせます。アクノリッジに関連したクロック・パルスはマスタによって生成されます。マスタはアクノリッジ・クロック・サイクルの間にSDAラインを解放(“H”)にします。スレーブ・レシーバは、アクノリッジ・クロック・パルスの間SDAラインをプルダウンし、このクロック・パルスが“H”的間SDAラインが安定して“L”に保たれるようにする必要があります。

### スレーブ・アドレス

LTC3220/LTC3220-1の各バージョンは、製造時に設定されている固有のアドレスに応答します(表1)。LTC3220/LTC3220-1は書き込み専用デバイスなので、アドレス・バイトの8番目のビット(R/W)はLTC3220/LTC3220-1がアドレスを認識できるように0にする必要があります。このため、アドレスは事実上、最下位ビットが0で8ビットの長さになります。正しい7ビット・アドレスが与えられてもR/Wビットが1であると、LTC3220/LTC3220-1は応答しません。

表1. LTC3220/LTC3220-1の製造時に設定されたスレーブ・アドレス

PART NUMBER	SLAVE ADDRESS
LTC3220	0011100
LTC3220-1	0011101

## 動作

### バスの書き込み動作

START条件と7ビットのアドレス、それに続く書き込みビットR/W = 0によって、マスタはLTC3220/LTC3220-1との通信を開始します。アドレスがLTC3220/LTC3220-1のアドレスと一致すると、LTC3220/LTC3220-1はアクノリッジを返します。次いで、マスタは書き込まれるデータ・レジスタの最上位のサブアドレス・バイトを供給します。LTC3220/LTC3220-1が再度アクノリッジを返し、次いで、最上位ビットを先頭にしてデータが供給されます。このサイクルは、必要なデータ・レジスタのすべてが書き込まれるまで繰り返されます。任意の数のデータ・ラッチに書き込むことができます。各データ・バイトは、アクノリッジが返されると内部のホールディング・ラッチに転送されます。データ・バイトがすべてLTC3220/LTC3220-1に転送された後、マスタはSTOP条件を使用して通信を終了することができます。代わりに、マスタはREPEAT-START条件を開始し、I<sup>2</sup>Cバス上の別のチップをアドレス指定することもできます。このサイクルは無期限に継続可能で、LTC3220/LTC3220-1は受信した有効データの最後の入力を記憶します。バス上のすべてのチップがアドレス指定されて有効データが送られると、グローバルなSTOP条件を送ることができ、LTC3220/LTC3220-1は受信したデータを使用してすべてのレジスタを更新します。

状況によっては、I<sup>2</sup>Cバスのデータが損傷することがあります。このような場合、LTC3220/LTC3220-1は受信した最後の完全なデータセットだけを保存することにより適切に応答します。たとえば、LTC3220/LTC3220-1が正常にアドレス指定され、データを受信中にSTOP条件が誤って発生したと仮定します。LTC3220/LTC3220-1はこのSTOP条件を無視し、新しいSTART条件、正しいアドレス、サブアドレス、新しいデータセット、STOP条件が送信されてくるまで応答しません。

同様に、LTC3220/LTC3220-1が以前にアドレス指定され、有効なデータが送られてきているのにSTOPで更新されない場合、1つの例外を除いて、REPEAT-STARTが何回発生したかに係なく、バス上に現れたどのSTOPにも応答します。REPEAT-STARTが与えられ、LTC3220/LTC3220-1がアドレスと最初のバイトを正常にアクノリッジする場合、新しいデータ・バイトをすべて受信してアクノリッジするまでLTC3220/LTC3220-1はSTOPに応答しません。

### クイック書き込み

REG0のビット0を“H”に設定することにより、レジスタREG1～REG18に並列に書き込むことができます。このビットが“H”に設定されていると、REG1への次の書き込みシーケンスで、すべてのユニバーサルLEDレジスタであるREG1～REG18にデータが書き込まれます。

# LTC3220/LTC3220-1

## アプリケーション情報

### V<sub>IN</sub>、CPOコンデンサの選択

LTC3220/LTC3220-1に使用されるコンデンサの種類と値によって、レギュレータ制御ループの安定性、出力リップル、チャージポンプの能力、最小起動時間などいくつかの重要なパラメータが決定されます。

ノイズやリップルを低減するため、C<sub>VIN</sub>とC<sub>CPO</sub>のどちらも等価直列抵抗(ESR)が小さいセラミック・コンデンサを使用することを推奨します。タンタル・コンデンサやアルミ・コンデンサはESRが大きいので推奨できません。

C<sub>CPO</sub>の値によって、所定の負荷電流に対する出力リップルの大きさが直接制御されます。C<sub>CPO</sub>のサイズを大きくすると、起動電流が増えた場合に出力リップルが減少します。1.5倍モードのピーク-ピーク間出力リップルは次式で概算されます。

$$V_{\text{RIPPLEP-P}} = \frac{I_{\text{OUT}}}{3f_{\text{OSC}} \cdot C_{\text{CPO}}} \quad (3)$$

ここで、f<sub>OSC</sub>はLTC3220/LTC3220-1の発振周波数(標準850kHz)、C<sub>CPO</sub>は出力の蓄電コンデンサです。

2倍モードでは、クロックの両方のサイクルで負荷電流が供給されることにより、出力リップルが非常に小さくなります。

出力コンデンサの種類と値の両方がLTC3220/LTC3220-1の安定性に大きく影響することがあります。「ブロック図」に示すように、LTC3220/LTC3220-1は制御ループを使

用し、必要な出力電流に合わせるようにチャージポンプの能力を調節します。このループの誤差信号は出力コンデンサに直接保存されます。この出力コンデンサは、制御ループの支配的ポールとしての役割も果たします。リングングや不安定性を防ぐには、出力コンデンサがすべての状態で少なくとも3.2μFの容量を維持することが重要で、ESRを80mΩ以下にする必要があります。

積層セラミック・チップ・コンデンサには、非常に優れたESR特性があります。密なボード・レイアウトとMLCCを組み合わせると非常に良い安定性が得られます。C<sub>CPO</sub>の値によって出力リップルの大きさが制御されるのと同様、C<sub>VIN</sub>の値によって入力ピン(V<sub>IN</sub>)に現れるリップルの大きさが制御されます。チャージポンプが入力充電フェーズまたは出力充電フェーズのどちらであってもLTC3220/LTC3220-1への入力電流は比較的一定ですが、クロックの非重複期間中はゼロまで低下します。非重複期間は短い(約25ns)ので、これらの欠けた部分「ノッチ」は入力電源ラインをわずかに乱すだけです。タンタルのようなESRが大きいコンデンサでは、入力ノイズが大きくなることに注意してください。したがって、ESRが小さいセラミック・コンデンサを推奨します。図4に示すように、非常に小さい直列インダクタを通してLTC3220/LTC3220-1に電力供給することにより、入力ノイズをさらに低減することができます。10nHのインダクタによって高速電流ノッチが除去されるので、入力電源への電流負荷はほぼ一定になります。コストを下げるため、約1cmのPC基板トレースを使用して、10nHのインダクタをPC基板上に作ることができます。

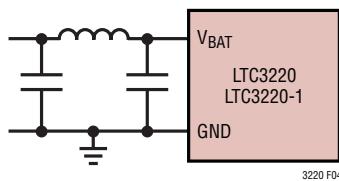


図4. 入力ノイズの低減に使用される10nHのインダクタ  
(約1cmの基板スペース)

## 動作

### フライング・コンデンサの選択

**警告:** フライング・コンデンサの電圧はLTC3220/LTC3220-1の起動時に反転があるので、フライング・コンデンサにはタンタルまたはアルミのような有極性コンデンサは決して使用しないでください。フライング・コンデンサには必ずセラミック・コンデンサを使用してください。

フライング・コンデンサはチャージポンプの能力を制御します。定格出力電流を得るため、各フライング・コンデンサには少なくとも $1.6\mu F$ の容量が必要です。コンデンサは材質が異なると、温度や電圧が上昇するに従って異なった速度で容量を失います。たとえば、X7Rの素材で作られたセラミック・コンデンサは $-40^{\circ}C \sim 85^{\circ}C$ で容量のほとんどを維持しますが、Z5UまたはY5Vタイプのコンデンサは同じ範囲でかなりの容量を失います。Z5UおよびY5Vのコンデンサは電圧係数も非常に劣り、定格電圧が印加されると60%以上の容量を失うことがあります。したがって、異なるコンデンサを比較するときは、規定容量値を比較するより、所定のケース寸法に対して得られる容量を比較する方が多くの場合適切です。たとえば、定格電圧および定格温度の全条件にわたって、0603ケースに入った、 $1\mu F$ 、10VのY5Vセラミック・コンデンサでは、同じケースで供給される $0.22\mu F$ 、10VのX7Rよりも大きな容量が得られるとは限りません。最小容量を全温度および全電圧にわたって確保するにはどの値のコンデンサが必要かを判断するには、コンデンサの製造元のデータシートを調べる必要があります。

セラミック・コンデンサの製造元とその連絡先を表2に示します。

表2. 推奨するコンデンサの製造販売元

AVX	<a href="http://www.avxcorp.com">www.avxcorp.com</a>
Kemet	<a href="http://www.kemet.com">www.kemet.com</a>
Murata	<a href="http://www.murata.com">www.murata.com</a>
Taiyo Yuden	<a href="http://www.t-yuden.com">www.t-yuden.com</a>
Vishay	<a href="http://www.vishay.com">www.vishay.com</a>

### レイアウトの検討事項とノイズ

LTC3220/LTC3220-1はEMIを最小限に抑えるように設計されています。ただし、LTC3220/LTC3220-1によって高いスイッチング周波数と過渡電流が生じるので、ボード・レイアウトには注意が必要です。適切なグランド・プレーンと、すべてのコンデンサへの配線を短くすることにより性能が向上し、あらゆる条件で適正なレギュレーションが得られます。

フライング・コンデンサのC1P、C2P、C1M、C2Mの各ピンの波形はエッジ・レートが制限されています。これらのピンのdv/dtが大きい場合、隣接するプリント配線との間にエネルギーの容量性結合が生じる可能性があります。フライング・コンデンサがLTC3220/LTC3220-1の近くに配置されていないと(つまり、ループで囲まれた面積が大きいと)、磁界が発生することがあります。容量性のエネルギー転移を防ぐには、ファラデー・シールドを使用することができます。これは、敏感なノードとLTC3220/LTC3220-1のピンの間に配置する接地されたPCBトレースです。高品質のACグランドを確保するには、それをLTC3220/LTC3220-1まで連続して伸びる、しっかりとしたグランド・プレーンに戻します。

# LTC3220/LTC3220-1

## アプリケーション情報

### 電力効率

LED ドライバ・チップの電力効率( $\eta$ )を計算するには、LED の電力を入力電力と比較します。これら2つの数値の差は、チャージポンプまたは電流源で失われた電力を表します。数学的に表すと、電力効率は次式で求められます。

$$\eta = \frac{P_{LED}}{P_{IN}} \quad (4)$$

LTC3220/LTC3220-1の効率は動作しているモードによって異なります。LTC3220/LTC3220-1はパス・スイッチとして動作し、 $I_{LED}$ ピンでドロップアウトが検出されるまで  $V_{IN}$ をCPOに接続するということを思い出してください。この機能により、所定の入力電圧とLEDの順方向電圧に対して可能な最適効率が得られます。スイッチとして動作しているとき、効率は次のように近似されます。

$$\eta = \frac{P_{LED}}{P_{IN}} = \frac{V_{LED} \cdot I_{LED}}{V_{IN} \cdot I_{IN}} = \frac{V_{LED}}{V_{IN}} \quad (5)$$

これは入力電流がLED電流の合計に非常に近くなるからです。

中程度の出力電力から高い出力電力では、LTC3220/LTC3220-1の消費電流は無視できるので、上式は有効です。

いずれかのLEDピンでドロップアウトが検出されると、LTC3220/LTC3220-1はチャージポンプを1.5倍モードでイネーブルします。

1.5倍昇圧モードでの効率は、実効入力電圧が実際の入力電圧の1.5倍あるリニア・レギュレータの効率に似ています。それは、1.5倍チャージポンプの入力電流は負荷電流の約1.5倍だからです。理想的な1.5倍チャージポンプでは、電力効率は次式で求められます。

$$\eta_{IDEAL} = \frac{P_{LED}}{P_{IN}} = \frac{V_{LED} \cdot I_{LED}}{V_{IN} \cdot 1.5 \cdot I_{LED}} = \frac{V_{LED}}{1.5 \cdot V_{IN}}$$

同様に、2倍昇圧モードの効率は、実効入力電圧が実際の入力電圧の2倍あるリニア・レギュレータの効率に似ています。理想的な2倍チャージポンプでは、電力効率は次式で求められます。

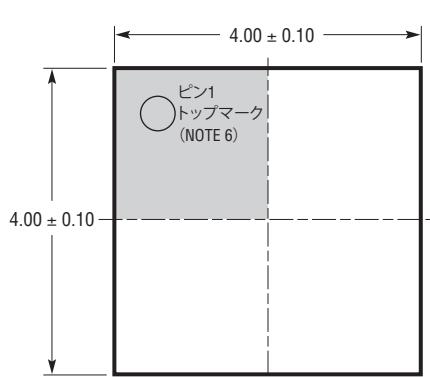
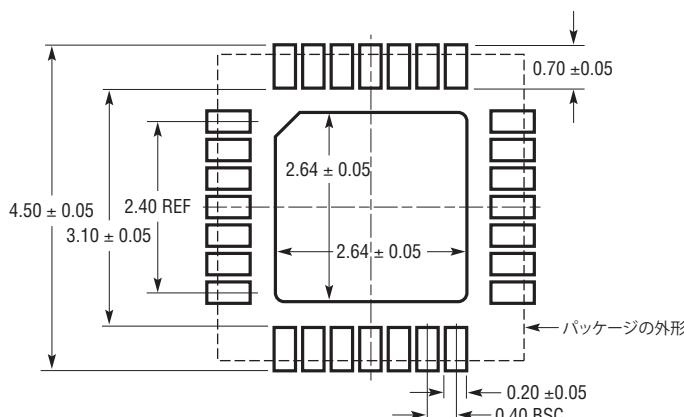
$$\eta_{IDEAL} = \frac{P_{LED}}{P_{IN}} = \frac{V_{LED} \cdot I_{LED}}{V_{IN} \cdot 2 \cdot I_{LED}} = \frac{V_{LED}}{2 \cdot V_{IN}}$$

### 熱管理

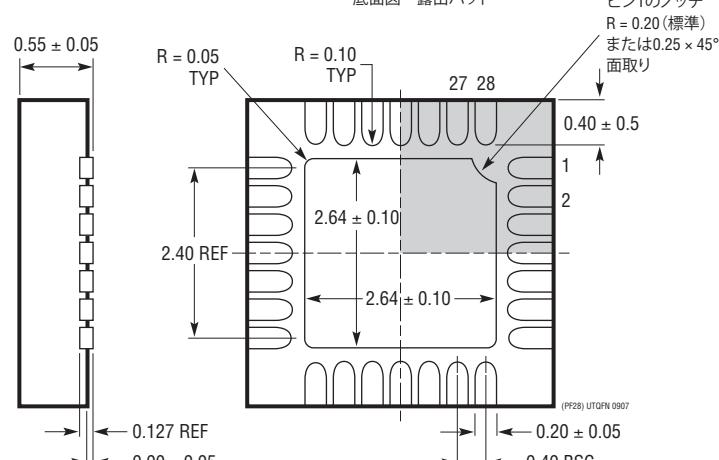
入力電圧が高く、出力電流が最大の場合、LTC3220/LTC3220-1内の電力消費がかなり大きくなることがあります。接合部温度が約150°Cを超えると、サーマル・シャットダウン回路が出力電流源とチャージポンプを自動的に停止します。最大接合部温度を下げるため、PC基板に十分な熱接続を行うことを推奨します。露出パッドをグランド・プレーンに接続し、デバイスの下にしっかりととしたグランド・プレーンを確保すると、パッケージとPC基板の熱抵抗を大幅に低減することができます。

## パッケージ寸法

PFパッケージ  
28ピンUTQFN(4mm × 4mm)  
(Reference LTC DWG # 05-08-1759 Rev Ø)



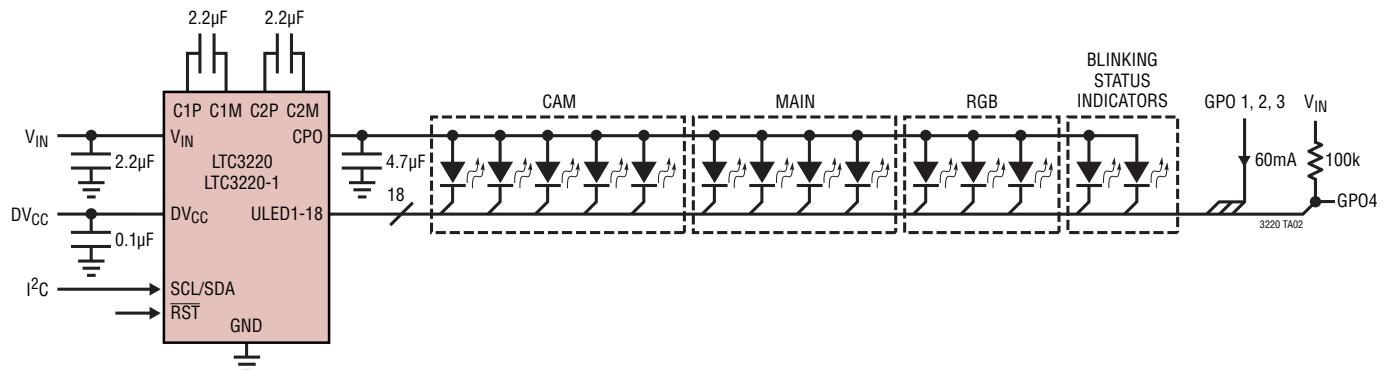
- NOTE:  
 1.図はJEDECパッケージ外形とは異なる  
 2.図は実寸とは異なる  
 3.すべての寸法はミリメートル  
 4.パッケージ底面の露出パッドの寸法にはモールドのバリを含まない。  
 モールドのバリは(もしあれば)各サイドで0.15mmを超えないこと  
 5.露出パッドは半田メッキとする  
 6.網掛けの部分はパッケージの上面と底面のPin1の位置の参考に過ぎない



# LTC3220/LTC3220-1

## 標準的応用例

補助電流源出力付き携帯電話用マルチディスプレイLEDコントローラ



## 関連製品

製品番号	説明	注釈
LTC3205	250mA、1MHz、マルチディスプレイLEDコントローラ	V <sub>IN</sub> :2.8V~4.5V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.5V、I <sub>Q</sub> = 50μA、I <sub>SD</sub> < 1μA、QFNパッケージ
LTC3206	400mA、800kHz、マルチディスプレイLEDコントローラ	V <sub>IN</sub> :2.8V~4.5V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.5V、I <sub>Q</sub> = 50μA、I <sub>SD</sub> < 1μA、QFNパッケージ
LTC3207	600mAユニバーサル・マルチ出力LED/カメラ・ドライバ	V <sub>BAT</sub> :2.9V~5.5V、個別に制御される12個のユニバーサルLEDドライバ、1個のカメラ・ドライバ、4mm×4mm QFNパッケージ
LTC3208	ソフトウェアで設定可能な高電流マルチディスプレイLEDコントローラ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.5V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.5V、I <sub>Q</sub> = 250μA、I <sub>SD</sub> < 3μA、17個の電流源(メイン、サブ、RGB、カメラ、補助)、5mm×5mm QFNパッケージ
LTC3209-1/ LTC3209-2	600mAメイン/カメラ/補助LEDコントローラ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.5V、I <sub>Q</sub> = 400mA、最大94%の効率、4mm×4mm QFN-20パッケージ
LTC3210	3mm×3mm QFNパッケージのメイン/カメラLEDコントローラ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.5V、I <sub>Q</sub> = 400μA、メインおよびカメラLEDの3ビット輝度制御、3mm×3mm QFNパッケージ
LTC3210-1	64段階の輝度制御が可能なメイン/カメラLEDコントローラ	メインLEDの6ビットDAC輝度制御とカメラLEDの3ビットDAC輝度制御、3mm×3mm QFNパッケージ
LTC3210-2	32段階の輝度制御が可能なメイン/カメラLEDコントローラ	4個のメインLEDをドライバ、3mm×3mm QFNパッケージ
LTC3210-3	32段階の輝度制御が可能なメイン/カメラLEDコントローラ	3個のメインLEDをドライバ、3mm×3mm QFNパッケージ
LTC3212	RGB LED ドライバおよびチャージポンプ	RGB LEDをドライバ、25mA/LED×3、V <sub>IN</sub> 範囲:2.9V~4.5V、2mm×3mm DFNパッケージ
LTC3214	500mAカメラLEDチャージポンプ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.5V、シングル出力、3mm×3mm DFNパッケージ
LTC3215	700mA低ノイズ高電流LEDチャージポンプ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.4V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.5V、I <sub>Q</sub> = 300μA、I <sub>SD</sub> < 2.5μA、DFNパッケージ
LTC3216	独立したフラッシュ/トーチ電流制御付き1A低ノイズ高電流LEDチャージポンプ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.4V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.5V、I <sub>Q</sub> = 300μA、I <sub>SD</sub> < 2.5μA、DFNパッケージ
LTC3217	600mA低ノイズ、マルチLEDカメラ・ライト・チャージポンプ	V <sub>IN</sub> :2.9V~4.4V、I <sub>Q</sub> = 400μA、4つの100mA出力、QFNパッケージ
LTC3218	400mA、1線のカメラ LEDチャージポンプ	91%の効率、V <sub>IN</sub> 範囲:2.9V~4.5V、2mm×3mm DFNパッケージ、ハイサイド電流センス
LTC3219	250mAユニバーサル・マルチ出力LEDドライバ	V <sub>BAT</sub> :2.9V~5.5V、個別に制御される9個のユニバーサルLEDドライバ、3mm×3mm QFNパッケージ
LTC3440/ LTC3441	600mA/1.2A (I <sub>OUT</sub> )、2MHz/1MHz、同期整流式昇降圧DC/DCコンバータ	V <sub>IN</sub> :2.4V~5.5V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.25V、I <sub>Q</sub> = 25μA/50μA、I <sub>SD</sub> < 1μA、MS/DFNパッケージ
LTC3443	600mA/1.2A (I <sub>OUT</sub> )、600kHz、同期整流式昇降圧DC/DCコンバータ	V <sub>IN</sub> :2.4V~5.5V、V <sub>OUT(MAX)</sub> = 5.25V、I <sub>Q</sub> = 28μA、I <sub>SD</sub> < 1μA、DFNパッケージ
LTC3453	1MHz、800mA同期整流式昇降圧高電力LEDドライバ	V <sub>IN(MIN)</sub> :2.7V~5.5V、V <sub>IN(MAX)</sub> :2.7V~4.5V、I <sub>Q</sub> = 2.5mA、I <sub>SD</sub> <6μA、QFNパッケージ

32201fc

20

リニアテクノロジー株式会社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6紀尾井町パークビル8F  
TEL 03-5226-7291・FAX 03-5226-0268・www.linear-tech.co.jp

LT 0409 REV C • PRINTED IN JAPAN

LINEAR  
TECHNOLOGY

© LINEAR TECHNOLOGY CORPORATION 2007